



「外資の対日進出戦略と立地特性」

外国企業による対日進出が再び勢いを増している。欧米系に限らず、中国を初めアジアの企業による進出も目立つ。製薬、化学、鉄鋼、建設機械、電機・電子、精密などの製造業はもとより、ホテル、外食、生命保険や損害保険、銀行、証券、不動産、クレジットカード、語学スクールなどの教育、会計監査やコンサルタント、航空など運輸、広告、シェアリング・エコノミー関係に至るまで子会社や支店の立地が実に広がりを見せている。ただし、製造業とは対照的に、サービス業では従来より首都圏に外資系企業の立地拠点が集中する傾向に変わりはない。日本経済全体の視点から地域の活性化を図るなら、外資の誘致は実に魅力的となり、欠かせない。果たして今後、関西などの主要な地域に外資系企業を呼び込めるのかが気になるところである。

本セミナーでは理論、政策、実務の面から専門家による研究報告を通じて、外資系企業の日本における戦略特性、管理特性といったミクロの視点、ならびに産業別の外資系企業の立地特性といったメタ・レベル、外資系企業の日本における貢献と課題といったマクロの観点から総合的に外資系企業行動と外資への政策をバランス良く究明していきながら、実態解明に迫る。



日時：2018年7月28日(土)
13:30～16:50 (13:00～受付開始)

場所：関西学院大学 大阪梅田キャンパス 1004教室
(大阪市北区茶屋町19-19 アプローチタワー10階)

【プログラム】

13:30-13:40 開会挨拶 高林 喜久生氏 (関西学院大学経済学部教授／産業研究所 所長)

13:40-14:10 第1報告 藤澤 武史氏 (関西学院大学商学部教授／産業研究所 副所長)

「外資系企業の対日進出状況の概要と特性および受入れメリット」

14:15-15:25 第2報告 牧野 信夫氏 (株式会社 マッキーコーポレーション 取締役 CEO)

「外資系企業の対日戦略と日本への貢献—トランスナショナル経営の視点から—」

(報告55分 質疑応答15分 ※第3報告でも同様)

15:30-16:40 第3報告 井上 徹哉氏 (JETRO 大阪本部 対日投資推進課長)

「JETROから見た外資の進出実例とポイント」

—東京立地と関西立地の魅力度比較の視点を交えて—

16:40- 閉会の辞 藤澤 武史氏

◇どなたでもご参加いただけます。参加費は無料、事前申込み不要◇

主催：関西学院大学産業研究所 後援：日本貿易振興機構

お問い合わせ：関西学院大学産業研究所 TEL 0798-54-6127